

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393000357
事業所名	グループホームほほえみの里若林

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	開設後民生委員の会議に積極的に参加し、知名度を高めて自治区に加入ができた。地域情報を得て神社や公民館の祭りなどに参加している。事業所で地域サロンを開き、地域の人と交流をしたり、楽器演奏やカラオケなどボランティアを招いての交流もしている。散歩などで地域の人と挨拶を交わし、繋がりを持つようにしている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	家族代表、区長、民生委員、地域包括支援センターの参加を得て、隔月毎に年6回開催されているが、平日開催のため家族の参加が招集に努力をしている。事業所の状況や活動報告、サロン活動、感染症予防や身体拘束などについて話し合いや情報交換をしている。要望などは検討しサービス向上に繋げている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	事業所の活動状況報告時に、市の担当者とは情報交換をしたり、制度についての質問や困難事例の相談などをしてアドバイスを受け適正な協力関係が築かれている。運営推進会議には、包括支援センターの職員が毎回参加し情報を共有している。市が主催する研修に積極的に参加している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	入居者からは、居室やお風呂など、入居者がくつろげる場所や時間に意見を聞き出すようにしている。意見箱は常設しているが利用はないので、家族の訪問時や家族会などで職員が積極的に話しかけて意見や要望を聞くように心がけている。ホームだよりや法人だよりを配布し事業所の様子を知らせ、家族からの安心を得ている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	-	-	-	-	-	-	-	○			